



Rotary International District2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
 ■会長：楠原忠夫 ■副会長：潮田悦男 幹事：橋本和典

発行日 / 2012年 8月 28日
2012-2013/7

Vol.34

No. 1613

hp:http://naraomiya-rc.jp
 E-mail : info@naraomiya-rc.jp
 2012-13年度当クラブテーマ

『活力あるクラブ作り』

国際ロータリー第2650地区
 ガバナー 河本 英典
Bridge the Gaps



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



会長報告

本日皆さんの状差しに入っていたかと思いますが、河本英典ガバナーが8月20日(月)KBS京都放送に出演され、「栢木寛照熱血説法 こころのラジオ」でお話をされます。来週の月曜日、もう一度放送されるそうですので、時間と興味のある方は是非聞いて頂きます様に。

委員会報告

新世代委員会：藤井委員長

●先々週、幹事から報告させて頂きました。新地区補助金を頂戴しました。その贈呈式をしたいと思います。施設の子がお二人、その付き添いがお一人、28日に来られます。どうぞ皆さんもご出席して頂いて、応援してあげてください。

●8月31日お昼から自治会の応援を頂戴しまして、こどもたちのサマーステージを開催します。先ず子供達がロケットを作ります。それを飛ばして競い合いをしたいと思います。その時の参加人数が約85名で聞いております。ロータリーの年長者の方でお孫さんが一緒に作ろうという方がおられましたら、ご参加して頂きたいと思っております。ロケットの準備が要りますので、当日欠席になっても構いませんので、回覧してあります出欠表にご記入ください。それと、夕方から多賀城市の総務課から来て頂まして、東日本の防災の日で因んで講演会をして頂きます。20時～21時まで。DVDと講演、質問と進めたいと思っております。参加人数は約150名と聞いております。当クラブは70名ほどおられますから、入って頂くと220～230名になります。できましたらちょっと顔を出して頂けたら、

例会プログラム

第8回 8月28日
通算1613回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング
「我らの生業」
3. 会務報告
4. 卓話
セシウム近畿備設計企画部
部長 川原 康幸氏
『節電セミナー』
5. 閉会の点鐘 18時30分

例会状況報告

第7回 8月21日
通算1612回

◎会員数	71名
◎出席規定免除者数	23名
◎出席義務者数	48名
◎欠席者	7名
◎出席者	58名
◎出席率	89.23%

第4回 7月31日
通算1610回の修正

◎会員数	71名
◎出席規定免除者数	23名
◎出席義務者数	48名
◎欠席者	7名
◎補填者	4名
◎出席者	60名
◎出席率	95.24%

と思っております。その後宿泊体験の希望の方が出ております。それが約70名と聞いております。子供達も夏休み最後ですから、体験も含めて、夏休みの宿題も含めて、お子様でちょっと参加してみようという方がありましたらどうぞ回覧の所に記入しておいて下さい。当日欠席結構でございます。行ける可能性のある方はどうぞご参加下さい。

●来週28日にサマーステージの打ち合わせをしたいと思っております。新世代委員会の方は、そんなに時間がかからないと思っておりますので、例会後、打ち合わせにご参加下さい。

ロータリー情報委員会：麴谷委員長

今年は今月一回、第三例会の時に、情報委員が手分けして、ロータリーのエピソードという形で、3～4分お話をさせて頂くことになりました。第一回目ということで、皆さんももうご存知の事とは思いますが、ロータリーの誕生についてお話させて頂きます。

20世紀の初頭、シカゴの町が著しい社会経済が発展していましたが、商業道徳の欠陥が目立つことが多くなっていました。その頃弁護士事務所を開業されたポール・ハリス・フェローはこの風潮に耐え兼ね、友人たちとお互いに信頼できる公正な取引をし、仕事上の取引がそのまま親友関係にまで発展する仲間を増やしたいと、会合を持ちたいと話し合っていたそうです。

1905年（明治38年）2月23日に第一回の会合が開かれ4人が集まりました。この第一回の会合は鉾山技師の事務所だったらしいのですが、このビルの一室はいまの国際ロータリーのビルの中に再現されているそうです。第二回目の会合はポール・ハリスの事務所が開かれ、6人が出席したそうです。この6人は後にパイオニア・ベテランという称号を、国際ロータリーの理事会から奉られたということです。3月23日に第三回目の会合が開かれ、9人が集まりました。この時にポール・ハリスは、この会を創立総会とし、会長に石炭商だったシルベスター・シールを選んで、発足したということです。第六回目には個人の事務所には入りきれない人数が集まったということで、何名という記録はないそうですが、この時から共にお昼ご飯を食べられるレストランなどで会合が開かれるようになったということです。1905年の年末には会員数30人くらいまで増えていたと記録に残っております。1908年（明治41年）には第二番目のクラブがサンフランシスコで誕生し、その後続々と新クラブが作られていったという事です。一業一人で親睦を図るという考え方が人々に受け入れられましたが、ロータリーの初期は相互扶助が主な目的でした。1906年のシカゴロータリークラブの定款に、「目的は会員の事業上の利益の促進、社交クラブに付随する良き親睦」と明記されています。しかしすぐに、「奉仕の哲学」をもつ団体へと発展していきます。ロータリーは哲学をもつことで発展していったのだと思います。

さて、奈良大宮ロータリークラブは奈良ロータリークラブがスポンサーとなり、奈良県出身の最初のガバナーに就任された緒方準一様が特別代表として、1979年（昭和54年）に創立されました。チャーターメンバー22名の方々が発足、現在7名の方がご活躍中です。ロータリー誕生の75周年目のことです。今年が創立34年目、ロータリー誕生108年目です。我々のクラブが創立された時、例会場は近鉄奈良駅ビルの上にはありました奈良ホテル別館で開かれていました。今と同じく火曜日の17:30から点鐘されておりました。地の利が良かったのか、メーキャップに訪れるロータリアンが多く、そして例会場が小さかったため、何人か以上のお客様が来られると、親睦委員が例会場で順に席を譲り、ホテルのレストランで食事をしたことでした。そして創立36年目の平成26年には奈良県からの8人目のガバナー、北河原公敬氏が就任します。その時、ロータリー誕生110年目です。また次回何のお話が出るかお楽しみにして下さい。

親睦活動委員会：植村委員長

●本日状差しに、「究極ワインの夕べ」サブタイトルが「夏バテも吹っ飛ばさず。さあ、食べて呑んで」という9月9日の家族親睦例会のご案内のリーフレットを入れさせて頂きました。



暗に奈良ホテルの料理長、及び神崎さんにも相当プレッシャーをかけています。「頑張るで」と言ってもらっていますので、是非多数のご参加を頂きます様にお願いします。ただ、申し訳ないことに神崎さんのお名前の表記が「崎」ではなく「崎」になっております。ここに訂正してお詫び申し上げます。

●県下のゴルフ大会ですが、本日回覧しております。10月16日(火)グランデージで行われますので、こちらも、奮ってご参加下さい。宜しくお願いします。

高辻SAA

次週、ベジタリアンであります米山奨学生が来られますので、同じ食事を食べたいという方がおられましたら、私の方まで是非報告してください。限定4～5食ですので、先着順とさせていただきます。

8月お誕生日・結婚記念日

★お誕生日★

2日	楠木	重樹	君
4日	武藤	廣茂	君
14日	北神	徳明	君
15日	高木	伸夫	君
15日	麴谷	滯	君
17日	門脇	伸幸	君
22日	藤川	保雄	君

★結婚記念日★

16日 藤野 城市 君



ベネファクター認証

多田 廣 君



卓話

新入会員卓話 西本 隆一 会員

改めましてこんばんは。私、立場が、宗教法人の代表という事で、なんやろうというのは前回入会の時にも申し上げましたが、平たく言いますと、お墓・霊園の代表でございます。色んな役割は、皆様あまりご存じないような分野まで色々とさせて頂いておるんですが、その都合上結構話はさせて頂くのですが、今回に関しましては30分という時間の縛りを先ずは頂きまして、ゆっくりと大きな声で話したいなあ色々考えておりますと、入院致しまして時間がまるきりなくなりまして、本当に届かんお話ではありますが、暫くお付き合い頂きたいと思っております。

新入会員卓話という事で御命を頂きまして、私の場合は会社におりまして墓地・墓石の護持をするという場所でございます。入社以来、その頃は20歳少しくらいでしたが、全く門前いや、門内の小僧で入らせてもらいましたが、お越しになる皆様のことに対してあまり斟酌しないというか、興味がないというか、興味があるのは大体奥様方で、奥様方は例えばうちの霊園の場合は、東大寺の裏手にございまして奈良の町が一望できる所にございますけれども、旦那さんが気に入って「この霊園にお世話になるぞ」と、その方のお母さんが「こんな坂の所はよお上らんわあ」とおっしゃいます。自分がたぶん先に入るんじゃないかと思われる方でも、「いや、ずっとお世話せなあかん」と言われるような加減がありまして、ここにいらっしゃる皆さんがそういうお墓を持つと思いますと、大体お家にお墓なりお寺なりがありましてそちらにお持ちだと思います。なかなかそういうことを考えたりなさらないとは思いますが、そういうところで私どもがどういってお世話をさせて頂いているかということに関しまして、元から話と言うのは膝突き合わせてどういことをするんですよ、ということにはさしては頂いているのですが、このように皆さんの前で話をする機会というのは段々段々話がずれていって何を話しているのかわからんという所があるのですが、これだけの皆様、諸賢を前にしてわかったような口をきくようですが、皆様とは違う立場の人間から話をお伝えさせて頂きたいと思っております。



先ほども申しましたが、宗教法人の代表という事で、霊園墓地というのは墓苑協会の纏めで大体日本全国で二万軒ほどあるそうです。酒屋さんが日本に何軒くらいあるか、と大体同じくらいの軒数はあります。実際には地区村落墓地と言いまして、道も整備されていないような暗い狭い所にあるものが殆どでございまして、管理者がちゃんといらっしゃってということになると多分その十分の一程になるのかな、と思っております。設置は市区町村と言うような公共の設置、或いは私どものような宗教団体が設立母体ということで、その代表という事で墓地管理をさせて頂いております。私どもでは、お供えというか、税金のかからない部分を護持して行くという事を宗教法人で、お花であったり営利の関わる部分を(株)南都、南都というとなんか立派なようにも聞こえますが、南都銀行と間違える方も多いのですが、そちらの方でさせて頂いております。

この立場でおりますと、世間ではあまり体験しないことをたくさんさせて頂いております。お墓ですので、生々しいものはあまり扱いません。所謂お骨になった状態、或いはその前の状態、或いは、こんな状態になっているんだということの色々とご相談されたり、お話を聞かせてもらおう。勿論それに対しては戦力になる社員たちがいる訳ですが。そういったことに対して、20年30年培った経験を踏まえて、「この場合にはさわらない方がよいよ」とか、またその時は「是非お世話させてもらえ」とかいう形でお世話させて頂いております。ただ、こういった霊園墓地と言うのはなかなか普段設置されたりはなさらない訳ですが、私の祖父が亡くなりました時に父親が「墓がない」これ以上場所がないというので奈良の方で造らせてもらったのが、こういう創設者と言うのは見抜き見通しと言うか、色んなことを言い当てるみたいなことをする人間が多いのですが、私の父もそういう所がありまして、占い師のような、物を言い当てるみたいなことがありまして、まあ、当らんではないでしょうが、「皆さんの個々の事情を聞いてお世話をするお役目やから、それをお金に換えるという部分がある訳やから、よっぽど心得て振る舞わんことにはえらい目に遭うぞ」と。えらい目に遭うのは我々の方です。

例えばお墓教と言いますか、こんな墓だったらこんな形ですよ、というのは勿論話としてはある訳です。どんなふうにしたらいいかというのも勿論我々は聞かせてもらいます。その段階で第一回目で我々のいう事を聞いて頂けるのであれば、形もあります、こういうこともあります、勿論世間的なことも踏まえて申し上げられるわけですが、皆さんはある程度本などをお読みになって来られる訳です。それも一冊ではなく三冊も読んでお越しになられる。それを混ぜられると困る訳です。テレビ等でも何とか先生などもいらっしゃいますが、先生の話

を聞いて、「先生はこんな風に言っていた」とか言われますと、「お宅の話を一からきいておきますので、普通の話は勿論させて頂きますから」と、こういう方に話を申し上げていますが、大体、こういう社会的に始動的立場の方と言うのは「別にどっちでもいい。うちのおばあさんが言ってるから」と、積極的なのは奥様方となっております。

お墓の場合は地区地区で習慣が変わって来ます。京都型、奈良型、大阪型、皆さんも遠方からお越しになった方はたくさんおられると思います。九州の山ではこうやった、沖縄では、四国ではこう、というのがあってと思います。向こうにあった時に一族の長はこんな大きなやつやったから、それを持って来てというようなやり方をなさるのはあまりよろしくないです。先ずもって石造の前で額づいて、跪いて、目線がそんなに見上げるものでもなく見下げるものでもない、ちょうど人の形、するような形、お金はそんなにたくさんかけないで良いです。ただ、石で聖域を示したその中にお墓をして下さい、と私たちの言っていることは割と平気なことを言っているのですが、そういう事か見上げるようなお墓を造ろうとおっしゃる方がいらっしやいます。高野山やああいう所は別です。高野山のような大きなものが沢山あるところは構わないのです。あそこは八割くらいは木の下になるようなお墓地です。石塔自体が苔むしたりして、一般の墓地でありましたらものすごく嫌うんです。嫌って何かあるとか、こんなことが起こるぞとか、色んな言い方があるのはあります。その全山そのものがそういう所でしたらそんなに問題ではないのです。ところがそこ一軒だけ、うち金あるからこれでそこに、高野山やったらいらっしやいますよ。椅子に座ったお母さんの方を揉んでいるような石造を試してみたり、もう壮麗な石の御殿のようなお墓をされる。あんまりそれをされると、申し訳ない、それはあまりなかなか続かないんです。続かないという事は、次の世代の方が「もうこんなもんすんの、私ら結構や」と言われる場合が多いんです。ですから、普通の形と言う物がありますので、それを繋げて頂くことをお願いしているのですが、それをするとバブルの頃であれば3,000万、5,000万した場合もあります。「うちよう受けません」と言えば、すっとそれを受けられるような墓地へ行かれる方もいらっしやいました。従って、正解と言うのはあまりないのです。勿論形は決まっておりますが。各宗旨、宗派、宗教に合わせて、正解と言うのはないけれどこの習慣がこうなっておりますので、ということでやってるんですが、してはいけないこと、例えば自然石を使うとか、自己が起り易いとかそういうことで、嫌や、我々はしたくない、と申し上げるんですが、高級な石を使って、ブランド石塔なるものがあるのですが、そうではなく安定した石で、もっとその五分の一の値段でありますからこっちの石を、いうのですが、なかなかそういうものを使われる方はある程度成功された方ですので、見上げるような大きなお墓となったりもします。



そういうことをするよりは、「まつりもれ」と「まつりすぎ」をしない。「まつりもれ」と言うのは何かというと、大体自分から見て二世代上までの方で親戚縁者の方は外して直系の方だけをおまつりするというのが「まつりもれ」のないようにということで、お父さんおじいちゃんたちと同じ家に女中さんがいて、その方が亡くなったというので「この墓に入れとけや」というようなことが「まつりすぎ」。こちらを我々は嫌っております。そういう所を「どうしたらいい?」とおっしゃって頂けたら、「これはここを気を付けたら良いです」と申し上げるんですが、最近、そういう地区の習慣に拘ることが少なくなってきています。

自由気ままではございませんが、皆さんの頭の中で想像するというか、思想を形に表す、口にしてこんな形、「将棋の駒のような形にしてくれ」とかおっしゃってこられる訳ですが、我々はたかが50年くらいしか経験ありませんが、「続かん家が多いのでせんといて下さい」と言う、「そうけ?」と言って下さるんですが、どういう先生がどういうことをおっしゃっているのか知るために推命も勉強しましたし、手相も勉強しましたし、名前当てもさせてもらいました。これを友達に言うと、「お前あやしいんちゃうけ?」と言われるところが勿論あるんです。我々は死を糧に金にしようかというところが確かにあります。それに対して

危うきには近寄りたくないということで、ここでお話させて頂いていることが30年50年先のお約束を今させて欲しい。その時に私はおりませんが書類は一切残しておきます。それをずっと続けて頂きたいということをお孫さんに見せて下さい。お孫さんに見せたら、じいちゃんがこうやってはったというほど強いものはございません。そういう縷々と続くことをさせて頂いているのがうちの霊園ではございますが、軒数で3,500軒の契約者、石塔本数が8,000と数百本ございます。ということはお盆ともなりますと、何万人とお詣り頂ける訳ですが、それを見たお子さんたち、もうすぐ地蔵盆があるんですが、地蔵盆の提灯をみて、「俺



のや」と言われるんですね。もう40幾つの方ですが、「俺の提灯残してくれてあんの？」と、そういう長いお付き合いとか、皆さん、生きて行かれる方がおまつりする場所をしたいということで、大体霊園の担当者と言うのはしております。ただ、霊園というのは作る時にお金が物凄く要って、しばらくすると物凄くお金が入って、ピタッと止る、という構造になっております。当然のことながら、霊園は大概どこかで名義が変わっております。続かないわけです。お寺さんでしたらそこでチーンと鳴らしてお金になる訳ですが、大体うちの場合、設立当時持って

ておった個人財産は全部お供えした形で名義が全部行っております。あんまり儲かる職業ではないのですが、これはうちの家系で受け取ったものだと続けさせて頂いております。

こんな中でも私の前で石材部の社長というのがいるのですが、うちに来て50年か60年くらいになります。既に亡くなった先代が、「彼は信頼のおける人間やけれども頼んだらあかんぞ」と申しておりました。それは何を見ていたか、推命なんか、顔なんか、初代ですのでそういうのが見抜けるタイプやったんやと思います。結局その人間は死にはしませんでした。咽頭癌で声帯がダメになり、一切しゃべれなくなりました。そういうことを言い当てるというか、「お前50になったら人生変わるぞ」と本人が20年も前に行ってたのですが、「50になったら変わるって、何が変るんか」と思ってたんですが、本人が死んでしまいました。えらい立場がかわってしまいました。見抜き見通しと言うか、悩みなどを我々も踏まえた上で霊園、墓地運営しております。我々だけではなく、申しあげました千数百軒の霊園というのは、そういった形で運営されておられます。

思いがけず父親が急死し、立場が変わりまして、ロータリーにもこうして入れて頂いて、色々悩む所ではございますが、そういう話をまたさせて頂ければな、と思っておりましたら、自分が病気になってしまいました。手術をして、ちょっちょっと取って頂きました。入院は六日で済んで、「症例の中では一番軽いよ」という事です。昨日まで入院しておりましたので、もう今日はあかんかな、申し訳ないな、と思っておりましたら、うまいこと間に合わせるようにこうやって前に立たせて頂きました。

悩む時、苦しむ時はやはりご本尊さんということで、うちの文書に書いてございますが、五年ほど前に物凄く悩んでいた時がありまして、本堂で、この先どうやって行ったら良いかと5時間ほど正座して、当然足もきれてしまっ立つこともできないのですが、ずっと平伏して考えておって、ここで考えてても答えは返ってこないやろうと思っふと目を覚ますと、前のご本尊さんがものすごく温かくて、こういうことを感じさせてもらうためにご本尊さんっているんやろうな、と思っ、その瞬間からがくっといっしてしまっ、十五年間です。体調の方が悪くなり、体中がしんどくてしんどくてたまらんのに、心の方はその瞬間救われて、大悟すること数知れずとは思いませんが、その時にぱっと見開くように、心は救われたんですが、身体がしんどかったのが、この癌で入院した時以来、ずっと全部なくなりました。初代と言うのはやっぱり違っな、というのは、そういうことをパッと言って当てるんやな、と思っました。そういうロータリーでのお世話も含めて、お役目をさせて頂いて、いま、こうやってバラバラとお話させて頂いておっります。色んなことを言えるわけではございませんが、纏まったきちんとしたお話をすることはできないのですが、門前の小僧というか、門内の者でございしますので、皆様のことを気にしている人間が仲間として横に居るよと。大体100人お客さん、会員さん、或いは信者さんがいらっしやいましたら、97軒くらいは「別にうち困ってないよ」とおっしやると思っます。今の時代でございします。勿論、職業が、とか息子が、とか、孫が、とか色んな悩みはあるんでしょっうが、まあまあ普通に生きてらっしやい

ます。しかしその中の2～3軒の方は、所謂こういう宗教的な意味でのご教導を頂くような部分だと思えます。勿論そういう意味で何十年と修行のように頑張っておりますが、書籍を見せて頂いても判るように、お寺さん、高僧名僧と言われる方の明快なお話をとれるほど達してはおりませんが、皆さんがこまっぺいらっしやる時には「こういうこともありますよ」とお伝えできるような、そういう思いで日々おります。

自分が初めて入院させて頂いて、入院と言うのは大したことではなく、5日6日のことで退院はしてきたんですが、その時、病院で一人でボーっとしている時間が、本堂で何時間平伏しているより貴重でございまして、その時にふとこの一年だけでも身近なものが急に世代的に交代していきました。だんだん交代するという事に関して、あんまり怖いことではないんだな、ただ、交代して逝ってしまった人は気にはならんやろうけども、回りで見てる人間は悲しいというか切ない思いをずっと抱いてるんやろうな。その切ない思いを形にするのが我々のこの仕事として、霊園墓地という事で我々は維持させて頂いておる、或いは神社仏閣でありましたらご本尊さん、皆さんの苦しみや喜びを救って頂けるんだらうな。そういう形を私も50の歳ということで、50の我ということで、色んなことをさせてもらえる歳になったと。歳になると、社員さんなんかでもそうなんですけど、なんか日にちが経つのが早いとか、或いはもう気が付いたら夏や、言うてる内に秋や。私は50になったのが待ち遠しく思っておりました。歳をとるとやっぱり見えるもんが違ってくるな、と親なり先達なりが言うておったんで、楽しみに待っておりましたら、色んなものを見せて頂けるようになってきました。

私は青年会議所の東京の方で、お世話に行った事もありまして、そういった時に会議の設営など素人ながらにさせて頂きましたが、それからもう十何年経ちますが、知らない事を調べるのに物凄い便利になっております。テレビや新聞などもとんでもない、一次情報を先に調べに行ったら、記者が解釈したことを読むよりは、銀行や会社や官庁でもう生の資料を短縮せずに載っておりますので、新聞もテレビもみなくなりましたが、自分が知っている職業上の知識や先達から聞いた大事な話は、ネットやネットで調べた図書館の書籍などでは載っていない。皆様のご本業でもそうなのかな、と。

50になりました私の喜びの場所として、大変な楽しみとして、次の機会にはもう少しまともな纏まった話でさせて頂きたいと思えます。心をつつしみ、心を育てる機会としてこの場に居させて頂きましたことに御礼申し上げ、何でも「ハイ」と言わせて頂きたいですが、できなきゃもう諦めようと楽に思っております。

では、これからのロータリーライフ、また宜しくお付き合い頂きますようお願い致します。

☑☑☑☑箱

本日計 75,000円 累計 523,000円

- 楠原忠夫 君 暑い日が毎日続いていますが、健康に気をつけて例会出席宜しくお願いします。また、西本さん 本日の卓話ご苦労さんです。
- 橋本和典 君 長いつき合いの中華料理屋さんが閉店しました。台湾出身で同い年。何故か気があって夫婦同志で香港へ「美食の旅」にも連れて行ってもらいました。これから神戸へ行ってもどこで中華を食すればよいのやら。お店はイッパイあるけれど、あの味は……。サミシイなあ。
- 西本隆一 君 本日は新入会員卓話の御命をいただいております。皆様よろしくおねがいます。私事では、病院に入院しておりましたが、無事退院して参りました。家族に感謝の意をこめて。
- 麴谷 滯 君 誕生日を祝っていただきありがとうございます。 想えば遠くまで来たものだ！
- 北神徳明 君 今月70才を越えました。この年令（とし）になりますと、毎日毎日が感謝でございます。
- 武藤廣茂 君 本日は誕生祝い、ありがとうございます。先日、介護保険被保険者証が送られて来ました。ありがたいやら、さみしいやら、こんな高令者から、ハンディを取るのはやめて下さい。
- 藤川保雄 君 誕生日を祝っていただきありがとうございます。
- 楠木重樹 君 誕生日のお祝い有難ございます。

- 弓場裕史 君 おかげ様で奈良大宮ロータリークラブに入会させて頂き1年を迎えることができました。至らぬ事ばかりではありますが、これからもご指導よろしくお願い申し上げます。
- 井上正行 君 皆様からお見舞の電話ありがとうございました。8/24に内視鏡で取れたら取るとの事です。たぶん手術になると思います。皆さんもお気を付けて下さい。
- 山本尚永 君 井上様 お見舞申し上げます。頑張ってください。
- 大塩栄作 君 増井さん 先日は病院までわざわざお見舞にお越しいただきありがとうございました。お陰様で無事退院することが出来ました。
- 高木伸夫 君 奈良大宮ロータリー城陽会ご参加頂き有難うございました。清岡さん、増井さんお世話になりました。
- 潮田悦男 君 亡母の初盆、無事にすますことができました。
- 谷川千代則君 先日昨年の米山奨学生張さんがお盆休みで奈良に来られました。研修も終わり伊丹で勤務されています。皆様にもよろしくとのことでした。
- 金星 昇 君 残暑御見舞申し上げます。松岡嘉平治様、JA奈良県紹介ありがとうございました。工事無事終了致しました。
- 中條章夫 君 残暑おみまい申し上げます。今週もニコニコのご協力ありがとうございます。
- 山本直明 君 ニコニコ協力
- 矢追家麻呂君 ニコニコ協力
- 市田富久夫君 ニコニコ協力
- 増井義久 君 ニコニコ協力
- 倉田智史 君 ニコニコ協力

例会変更のお知らせ

9 月

■大和郡山ロータリークラブ■

- ・9月10日(月)・・・ガバナー公式訪問の為、時間変更。
時間：18:00-20:50

※ビジター受付は、当日12:00-12:30まで奈良プラザホテルにて行います。

- ・9月17日(月)・・・定款第6条第1節(c)の為、休会。

※ビジター受付は行いません。

■京都山城ロータリークラブ ■

- ・9月26日(水)→9月29日(土)

場所：「グリーンパル交流会2012」南山城少年の家

※ビジター受付は、9月26日(水)12:00-12:30まで
けいはんなプラザホテル1Fにて行います。

10 月

■京都山城ロータリークラブ■

- ・10月10日(水)→10月13日(土)

「松茸狩り家族親睦例会」

※ビジター受付は、10月10日(水)12:00-12:30まで
けいはんなプラザホテル1Fにて行います。

次週の例会

平成24年9月4日(火)

卓話 国際ロータリー第2650地区 新世代地区委員長 杉村 仁氏
「最近、思うこと」